

## 陸上競技プログラム報告

起き抜けに見た今日の天気予報では、今日の午前中は西南西の風 2m/s 晴れとなっていました。それは良いのですが気温が如何にも低い。正午に 6°C と云う予報でした。そして今朝、プログラム会場の福祉村に在るアメダス越谷は五時に -3.9°C を記録していました。酷く寒いプログラム決定です。

配布プリントは辛夷と白木蓮で作りました。いいえ、未だ咲いてはいません。細長い蕾（花芽？）を枝イッパイにつけているだけです。プリントはこの良く似た蕾から辛夷と白木蓮を見分ける見分け方で作っています。

例によってプリントはB5の用紙を縦に使い、上辺中央に『辛夷と白木蓮』とタイトルを表示し、その下に良く似た蕾をイッパイに付けた枝の画像を並べて貼り付けました。そしてその下から問題の見分け方を書いたわけですが、そのポイントは『枝の向きに逆らわず、横向きも下向きもあるコブシの芽にたいして、ハクモクレンの花の芽は全部 首をもちあげて、上を向きます。』と云うことに尽きます。

元氣館の会議室でのミーティングが終わると今日のメニューとの関係で、ふれあい橋先のログハウスに移動して、この裏の自由広場で大坂PCと磯野コーチの指導で準備運動をしました。そしてログハウス前をスタートしてジョギングコースを一周するウォーキングをしたわけですが、私はこのスタートを待たずに、近道をして植物観察の現場に向かいました。

現場はウォーキングのスタート地点から二百メートルほどのところに在り、辛夷と白木蓮が十メートル余りの間を置いて生えています。現場に付くと、私は辛夷の幹の横に立って一行を待ちました。

待つ程も無く大坂PCを先頭に一行が到着しました。私は早速、蕾（花芽）をいっぱいにつけた辛夷の枝を示し、どの枝の蕾も枝の伸びる方向を向いていることを確認してもらいました。そして再スタート。寒さの中で長居は無用です。

其処から十数メートル、私は集団の先頭を歩いて一行を白木蓮の前に導きました。此処では全ての蕾が上を向いているのを見てもらって、結論。『上を向いていれば白木蓮で色々な方向を向いていれば辛夷』

結論が出た所で再スタートしてもらいました。長たらしい無駄話で体を冷やしては何にもなりません。

ウォーキングの後は二月十六日の駅伝の模擬レースを二本（第1レースの模擬と第二レースの模擬）を走ってもらい、十一時四十五分、大坂PCのリードで上がりの体操をして、寒いプログラム（アメダス越谷は正午に 6.6°C）を”Let's Go SONS”で締め括りました。